

学習課題(小学校6年生)

【国語】



〈学習内容〉

◆「みんなで楽しくすごすために」（教科書 132～137 ページ）に取り組みます。

- (1) 教科書 132～137 ページを読み、活動の見通しをもちます。
- (2) 教科書に出ている「1年生との交流で、どんな遊びをするか」という議題について、①の部分を読み、活動の目的や条件を考え、ノートや取組シートにまとめます。

※目的や条件については、教科書 133 ページ下段を参考にして、考えてみましょう。

- (3) ②を読み、話し合いの進行計画について確認します。そして、③を読み、④で書いた自分の考えを、主張や理由、根拠をはっきりさせ、ノートや取組シートにまとめます。可能であれば、まとめた内容をおうちの人に向けて発表してみましょう。
- (4) ④を読み、話し合いのポイントを確認します。ワークシート「話し合いの様子」を読み、話し合いをしている人それぞれの主張や理由、根拠をはっきりさせながら、記録をノートや取組シートにまとめます。まとめ方は、教科書 135 ページ下段を参考にしましょう。
- (5) ⑤と「たいせつ」を読み、話し合い活動で大切なことや今後の話し合い活動で生かしていきたいことをノートや取組シートにまとめましょう。

◆「伝えにくいことを伝える」（教科書 138～139 ページ）に取り組みます。

- (1) 教科書 138～139 ページを読み、活動の見通しをもちます。
- (2) ①について、実際にいろいろな言い方でセリフを読み、「相手がどう感じるか」「その言い方で、伝えたいことが正しく伝わるか」について、自分の考えをノートや取組シートに書きましょう。
- (3) ②について、自分の考えをノートや取組シートに書きましょう。
③の場面について、どのように自分の考えや事情を伝えるか、実際に話す口調でノートや取組シートに書いてみましょう。

◆「みんなで楽しく過ごすために」で学習する予定の新出漢字（「専」～「紅」）を練習します。（読み方や書き順などは 302 ページに載っています。）

〈保護者による関わり方のポイント〉

- ・「みんなで楽しく過ごすために」では、「学校生活」について考えていますが、この活動を参考に、「家庭生活」についても話し合い活動を試してみるのもよいでしょう。
- ・「伝えにくいことを伝える」では、教科書 P139③の課題など、実際に二人一組でやり取りをすることで気付くことがあります。可能であれば、一緒に話し合ってみてください。

ワークシート「話し合いの様子」 ※(4)の学習の時に読みましょう。

岡田（司会） 今日の議題は、「交流週間に、1年生とどんな遊びをしたらよいか」です。交流週間の目的は、「楽しく遊んで仲よくなる」ことです。条件は、①遊ぶ時間は、水曜日の5時間目、②1年生にも難しくない遊び、③1年生も6年生も楽しめる遊び、④危険のない遊びの4点です。まず、一人ずつ意見を出し合いましょう。

関口 では、ぼくから言います。ぼくは、「じゃんけんおにごっこ」がよいと考えます。そのいちばんの理由は、1年生にとってルールが分かりやすいからです。また、タッチされてもじゃんけんでは勝てばおににならないので、足の速さに関係なく、みんなが楽しめます。ぼくもようち園のときに小学生といっしょにやったことがあって、とても楽しかったです。

矢島 私は、「だるまさんがころんだ」がよいと思いました。その理由は、ようち園や保育園でも遊んだことがある人が多いと思うからです。みんなが知っていて、準備や練習がいらないので、手軽に楽しく遊べると思います。

岩崎 ぼくは、「中あて」がよいと考えます。理由は、ボールに当たったら円の外に出るという簡単なルールで、もり上がる遊びだからです。この前、1年生と2年生が昼休みにいっしょにしているのを見ましたが、とても楽しそうでした。

岡田（司会） 私は、「長なわ」がよいと思います。その理由は、みんなでいっせいにできる遊びだと、一体になって楽しめるし、仲よくなれると思うからです。なわさえ用意すればいいので、短い時間で準備ができます。

岡田（司会） みんなの意見が出そろったので、疑問があれば、おたがいに質問をお願いします。

矢島 「じゃんけんおにごっこ」について質問です。じゃんけんをするというルールで、足の速さは本当に関係なくなるのでしょうか。

関口 ううん。確かに1年生にとっては、じゃんけんをするとしても少し不利かもしれないかもしれません。ちょっと考えさせてください。

岡田（司会） 「中あて」について質問します。1年生と6年生では体力の差が大きくて、ボールを投げる速さもちがうので危なくないですか。

岩崎 そうですね……。例えば、6年生は、きき手と反対の手で投げることにするというのはどうでしょうか。1年生でもかつやくできるようなルールにすれば、問題ないと思います。

関口 そうか、そういう特別なルールを作れば、みんなで楽しめそうですね。

岩崎 「だるまさんがころんだ」も、6年生のほうが足が速いので、にげるときに有利になりそうだけど、どうでしょうか。

矢島 確かに、6年生のほうが有利ですね。…あ、「6年生は走らない」という特別ルールで遊ぶのはどうですか。